



子どもを守る 環境づくりを

本市と高崎市は、市政の各分野にわたり連携し、さまざまな事業を行っています。

新たに取り組む「おなかの赤ちゃんをみんなで守る」事業については、全国的に大きな問題となっている少子化問題の解決に向け協力していこうとするものです。

わたしは、市長に就任して以来、「県都前橋の再生」という大きな目標に向かって、「元気で楽しい前橋」づくりに全力をあげています。もとより、次代を担う子どもたちに、明るくたくましく成長していただかなくては「元気」は生まれてこないと思っています。

そのために子育ての整備をして、子育て環境を守りたいと思っています。

この事業を通じて、市民のみなさんに「妊娠中の女性とその赤ちゃんを大切に作る心」を持っていただき赤ちゃんを安心して産み育てられる環境づくりを進めたいと考えています。多くの人々の力添えによりこの事業が発展できるようにしたいと思います。（「おなかの赤ちゃんをみんなで守る事業」のシンボルマーク表彰式、4月24日、高崎市役所）

ふれあい広場

まえばし シティフラッシュ



四月二十二日、総合福祉会館で「総合計画シンポジウムいきいき五百人会議」が開かれました。高木市長から将来都市構想の説明や、対談など盛りだくさん。参加者は今後のまちづくりに期待を寄せ、熱心に耳を傾けていました。

“元気で楽しい”前橋づくり



ツツジ咲く浄水場

5月3日から5日まで、ツツジが見ごろを迎えた敷島浄水場を一般開放しました。コンサートや物産展などもあり、家族連れなどで大にぎわい。好天にも恵まれ、色鮮やかな花が咲き乱れる場内で楽しいひとときを過ごしました。

こどもの日に催し

市立図書館で5月5日から7日まで「こどものひまつり」を開催。人形劇や映画のほか、5日に行われた読み聞かせとチェロの共演では、生演奏に合わせた朗読に、子どもたちは家族と一緒に聞き入っていました。



食事困んで 会話も弾む

東地区

古市町で四月二十九日、在宅高齢者ふれあい会食会が行われました。町内に住む七十五歳以上六十人が出席。昼食を食べながら、仲間との会話を楽しみます。食事は自治会婦人部などが前日から心を込めて準備。参加者には、「おいしかった」「普段なかなか会えない人とゆっくり話すことができてよかった」と大好評です。同町の真塩恒夫会長は「会話のある町、心豊かな町を目指しています。皆さんに喜んでもらえてうれしですね」と話していました。



まちの ニュース

スポーツで 交流深める



粕川地区

粕川町深津区自治会では、五月四日、粕川小のグラウンドで、ソフトボール大会を開きました。毎年この時期に開催し、今年で三十回目。昔の小字ごとに五チームが参加しました。大会は総当たり方式で各チーム熱戦を展開。日ごろの練習の成果を発揮して好プレー珍プレーが続出し、会場は大いに盛り上りました。同町の北爪義男自治会長は、「青空の中、ますます親ほくを深め、健康の増進を図ってほしいですね」と話していました。

people ピープル



大臣表彰された公園愛護会の会長
栗本 甲子さん(82)
江木町

公園は地域の品位を映す鏡

江木町新沼親水公園愛護会 通大臣表彰を受けた。その会が「みどりの愛護」功労者と長を設立時から務めている。そして、先月二十二日、国土交「公園は地域の品位を映す

鏡。きれいに保たれているかどうかで住民の連帯感が分かるんです。表彰はみんなの善意と協力のたまものと感謝しています。公園は平成十年に完成。幼児の遊び場、小川の流れる憩いの場、ゲートボール場などからなり、五千平方メートルの面積があるため掃除も大変だ。「愛護会では毎月一回、定例清掃を行うほか、当番がトイレやベンチをきれいにしたり、ゲートボールに来た人がプランターの花に水をやってるんです。毎年秋に行う芋

煮会はいつもと盛大。食べながら心を開き、世代を超えた住民交流が深まっています。県職員を勤めていたときに「地域が一つになるにはより必要です。この地域は新旧の住民、病院や福祉施設の人たちなどが生活しています。公園を中心にいる人たちが触れ合いながら、いつまでも住みよい環境づくりを進めていきたいですね」年齢を感じさせないバイタルティー。元気いっぱいだ。